

◆事業方針（計画等における位置づけ）

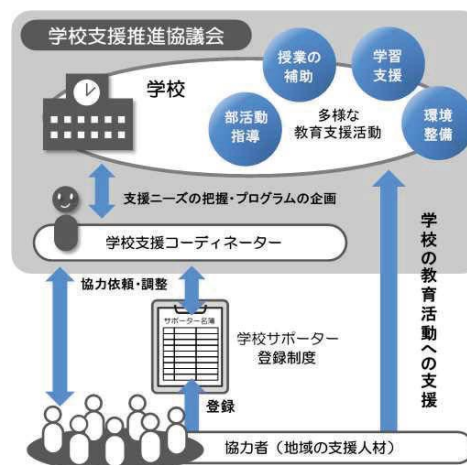
練馬区では、平成27年3月に区政運営の方向性となる「みどりの風吹くまちビジョン」を策定した。このビジョンにおいて、「家庭・地域の力を活かした学校運営や教育活動の推進」に取り組むとし、地域人材を活用することで学校の教育力を高めることを目指している。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等含む）

平成28年度より事業を開始し、30年度からは全小中学校・幼稚園で実施している。各校（園）ごとに学校支援推進協議会を設置し、1校1～2名のコーディネーターを配置している。

練馬区学校サポーター登録制度（人材バンク）の運用を行い、多様な支援人材の確保に努めている。

実施体制は右図のとおりである。



◆運営委員会

区全体の事業の推進に関する協議、課題の検証等を行う「練馬区学校・地域連携推進委員会」を設置している。構成員は、区管理職2名、小学校長・中学校長・幼稚園長各1名、コーディネーター3名としている。（30年度は2回開催予定）

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

練馬区教育委員会が発行する「教育だより」で年に1回、本事業についての記事を掲載している。また、区報に練馬区学校サポーター登録制度の登録者募集の記事を不定期に掲載している。（いずれも区ホームページより閲覧可能）

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

コーディネーター研修を2回開催する。そのうち第1回は事業説明会を兼ねており、コーディネーターだけでなく区管理職や担当教員も参加対象としている。

30年度は全校を対象としたコーディネーター・ミーティングを開催し、コーディネーター活動事例の紹介やグループ討議による情報交換を行う。

◆成果

(1) 平成30年度 協働活動支援員活動実績（30年4月～10月）

活動人数 (有償のみ)	延1,752名（1校平均 延17.3名）	
	<内訳>	
	授業の補助	延1,245名
	ゲストティーチャー	延277名
	学習環境整備	延230名

(2) 学校サポーター登録数

	30年10月31日現在	【参考】30年3月31日現在
個人登録数	287名	238名
団体登録数	11団体	10団体

◆課題・展望

学校によって取組状況（コーディネーターや支援人材の活用状況等）に差があることが課題である。コーディネーター同士の情報交換の場を確保し、各校の取組の底上げを図る。